

# 常磐タイムス

毎月 十日 二十日 発行日  
 定価 一月 二角 半年 一元  
 廣告料 一行 三十銭  
 場所指定 一行 五十銭  
 編集人 高橋 竹四郎  
 発行所 福島縣平町田町六  
 電話 二二八番

## 吾等の希望に輝く

### 平町會議員立候補者

平町青年修訓の實績を擧げ今亦町政に光榮を與へんとす

### 吉田五平氏

老いたりと雖も氣魄旺盛にしてよく公私共に貢献する人、吉田五平氏は財力に恵まればる情願

### 多田井笑次郎氏

前平町青年團長として青年團を指導し訓育して名譽を馳せたる多田井笑次郎氏の立候補こそは町民の渇仰の的であらう。君亦温良なる内に英斷の氣骨に富み、才幹從横私事を捨て、公事に盡す公正なる人格者である。

八年間町治に忠實で亦功績あつた

當選を等しく期待する、

### 高橋龜松氏

候補人物中の白眉



人々からも敬愛せらるる理由が此所に存するのであつて、前期能をモットとする大平町建設

無言にして果斷あり、果斷にして涙ある人、高橋龜松氏は温情に富む半面親分肌の人として随分人の面倒も見る氏が多數の

## 釜屋金物店

平町五丁目 電話九番・九九番

に於ける選挙に最高点を勝ち得た事も決して偶然事ではないのである。

亦町政に對しても最も忠實に參與してゐる町會議員としてその資格十二分なりとしその才幹と人情味を認められ得る。

### 吉田金作氏

餅屋でありとせば、管それまでの事であるが、甘え物は何人も好み、マツイ物は食ひたくな

思ふ時に選挙民は町代表を先づ選ばんとする機会に於て細心の注意を要さねばならぬ筈である

口頭には何人も大平町建設云々の鹿爪らしく稱へることも出来

得よう、然れども此の有事なる實際時に直面して岐路に立つた

時の眞剣味なる活躍と力量に俟つ事に於て甘えマツイを考慮し

以つて相互福利の上に泰山の安きを得ねばならぬことである。

此處に吉田金作氏の如きは全く甘過る人として町代表として町

政に參與させたいなる理由が存するのである。

平町民の叫びとして、經濟的本能をモットとする大平町建設

による福祉であると共に従つて起る將來に起らねばならぬ

とは小名濱商港の繁榮實現に伴ふ平町の倍繁企劃であることは

當然事の叫びである。

此の有事に處して矢面に立つて活躍する人、吉田金作氏を今より記憶せねばならぬ、氏は警中第二回卒業、商船學校を終へ日本郵船会社に奉職名機關長と云はれ、名船長と云はれて卅二年の歳月を海運業に力あつた人で

あるだけに商港と之れに伴ふ影響的地域状態の何者かを専門的筆を新たにする迄もなく町民は擧げて周知の事實であらう。

而かも君は年齢壯々にして大人の雅量をも有し、亦實際に於て處、行ふ点に於て此の難点をも認め得ないのである。營業とす

る激繁なる油店を支配する傍ら公私共に奮命を怠らないのである。町民は等しく此の公正にして眞精神の所有者である氏の過去、現在に信念して當選を渴望してこそ町民生活の守護者に對する義務遂行の四字を果し得たるものと云ふべきである。

警中出身、識見卓越の士として且つて青年修養團設立に盡力された事は克く氏の人格を表現して居る。平町政に參與してま

に明るく公正なる意見を開陳する人、亦實行を誓ふ人である。

今回の出馬は君の町政參與を心から渴望する團結による大衆の

### 關内正一氏

當選を待望する



全平町民から再選を渴望されて立つて關内正一氏は早稻田大學商科出の俊才であつて、性極め

純眞にして普愛町の志に燃ゆるの士

酒井 清氏

自治体に參與して

満点の資格ある

小松 茂氏

自治体の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

### 酒井 清氏

自治体に參與して

住吉屋支店の主人公で、平消防組の幹部として永年力を致せる人、多言ならざれども男らしき氣魂として眉宇の間に漂ふ。

氏の大氣宇を表はし盡してゐるどころ云つてもよい。政治上に對する識見にも富むで居り、從横に走る大なる才幹は大平町建設に志す必然の第一人者として多數町民から手腕と力量に信頼されてゐる。

自治体に參與して

満点の資格ある

小松 茂氏

自治体の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

### 大和田與兵衛氏

新聞人として眞に使命に生きつゝある人、大和田與兵衛氏の今

町の立候補は寧ろ遅れた感がある。眞に町政の眞隨を理解し盡してゐるだけに之れに對する見地も立派である事は主宰する警城之實業が物語つて居る。此の人は終始に筆に町の福祉を叫んでゐるに見ても當選の曉は議員中のピカ一として立派な仕事をなし遂げ得る貫録十分なる人である。

### 萩原義雄氏

君は縣會議員であり警城民政黨幹事長として齒科醫師會の顧問格として巾を利かせて居る、亦巾を利かせて居るだけに仕事もするが、決して人材振らない處に此の人の人格があるのである。

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

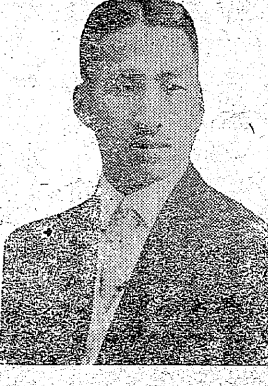
身命を賭しても

町治の公正に盡力する人

齋藤角治氏

身命を賭しても

町治の公正に盡力する人



多年町政に携つて居る關係上町民に對す幸福のため涙血の努力を惜まず奮命し盡して居る。今回は地盤の關係上得票の多少を氣遣はれてゐるが、氏の如き人物を萬一町會から失はんかそは町政上の一大損失なりとして氏は落すなとの聲は全町に滿ち満ちてゐる。